

くまがやピンクリボンの会HP

くまがやピンクリボンの会

検索

E-mail kumagaya.pinkribbon@gmail.com
<https://www.facebook.com/pinkribbonkumagaya>

検診率100%を
めざして!

第6回 ピンクリボンデー inくまがや

生きるとはピンクリボンと共にあり

作家・森村誠一先生からくまがやピンクリボンの
会にお贈りいただいた俳句です。



くまがやピンクリボンの会マスコットキャラクター「ミモちゃん」

報告書

2015.9.23(祝)・開催

- 主催／くまがやピンクリボンの会 ピンクリボン・デー inくまがや実行委員会
- 共催／熊谷市医師会
- 会場／熊谷市立文化センター文化会館



御礼にかえて

イベントスタート前、みんな揃って！ ボランティアスタッフ&実行委員会

おかげさまでこの度、「第6回ピンクリボン・デー in くまがや」(共催：熊谷市医師会、会場：熊谷市立文化センター文化会館)を盛会裏に終えることができました。動員総数は573名でありましたこと、ここに報告させていただきます。

内訳は、「ピンクリボン啓発ウォーク」参加者130名(熊谷警察署員10名)、「ピンクリボンコンサート」及び「ピンクリボン講演会」参加者274名、「検診車による乳がん検診」30名(視触診含む)、ブース展示及びボランティア参加者139名でした。

オープニングセレモニーでは、乳がんで先に逝ってしまった仲間たちと、わが町で起きてしまった悲惨な事件で命を落とした6人の尊い生命に会場の皆さまと「Moment of silence」(黙祷)を捧げました。

富岡清熊谷市長、熊谷市教育委員会・野原晃教育長、埼玉県疾病対策課・芦村副課長にご臨席を頂き、それぞれから温かいエールを頂きました。ご支援くださいました皆様、ご参加くださいました皆様、誠にありがとうございました。

9月のがん征圧月間に合わせ、例年よりも少し早い開催になったにもかかわらず、快くご協力してくださいました多くの皆様に、この場をお借りし

て心から御礼申し上げます。ありがとうございました。皆様からご協力頂きました協賛金は啓発事業として、携帯用がんモデル「IPU」作成、シリコンリストバンド、クリアファイル、エコバッグ、オリジナルバッジなどのオリジナルグッズや、ポスター・チラシ・リーフレットの制作、展示用啓発パネル作成、また会場費などのイベント運営費に使わせていただきました。(別途会計報告をご参照くださいませ)

また、これまで同イベントを通し「乳がんが見つかった」という女性も数人いますが、幸いにも順調な治療経過をたどっております。折しもタレントの北斗晶氏が乳がんを発症し報道され、多くの方々の関心を引く形となりました。このイベントがこれからも継続できますように、実行委員一同、反省点や課題点、新たな仕掛けや目標など再確認してまいります。まだまだ未熟な会ですが、この草の根運動を細々とでも末永く続けて参りたく思っております。

そして、いつかこの県北全体が乳がんで悲しむ女性(男性乳がん患者も含め)や家族が無くなることを願っています。今後とも良きご指導をくださいますよう実行委員一同、心からお願い申し上げます。

ピンクリボン・デー in くまがや実行委員会スタッフ一同

オープニング

Moment of silence



ピンクリボン啓発ウオーク archive

2年ぶりに啓発ウオークを復活。熊谷市街地を約5キロ、「検診率100%を目指して」の横断幕やのぼり旗を掲げて130人が歩きました。一般県民の他、埼玉アイメイト会からは7頭の盲導犬と使用者、ノルディックウオークなどの市民団体が初参加。見守りボランティアには製薬会社のサンノーバ株式会社様、アルスコンピュータ専門学校などの皆様のご協力をいただきました。



ピンクリボン講演会

サイバー（がん患者）体験が、
みんなの勇気になる！

講師の赤坂友紀さんは、29歳で乳がんを発症。右乳房温存術、化学療法、放射線療法後に完全閉経を宣告されましたが、妊娠に向け治療を開始。5年の治療を経て愛娘を授かりました。乳がん患者も普通の女性。「同じ悩みを持つ女性の力になりたい」、「乳がんになったのは不運だったけれど不幸ではない」と、凛とした姿が輝いていました。終盤は御主人、愛娘（1歳1カ月）も登壇。代表の栗原を交え対談。夫として、父親としての想い、そして、御主人の母親の「あなたは友紀ちゃんを守るために生まれてきた。ずっと守ってあげなさい」との話に会場は感動で包まれました。



検診車による乳がん検診

公益財団法人埼玉健康づくり事業団様のご協力を得て、乳がん検診車の見学と乳がん検診を30名様が受診しました。横田昌明医師による視触診の後、マンモグラフィー検診者は22名。視触診の内訳は20～30歳代が8名、20歳以下が3名でした。最新医療機器マンモグラフィーでの検査は以前より「痛くない」と好評でした。また、「健康相談コーナー」を設け、来場者に気軽にお立ち寄り頂きました。



応援アトラクション



乳腺外科医・横田昌明先生による視触診と検診（日本外科学会専門医、日本医師会認定医、産業医、日本消化器外科、日本乳癌学会認定医）

13団体によるブース展示

会場ホワイエでは協賛各社、団体様による展示、体験コーナーを設けました。熊谷市歯科医師会は口腔ケア、熊谷市薬剤師会の健康チェック（肌年齢、血流、血圧）は行列ができるほどの人気でした。また、食の大切さを「野菜ソムリエさいたまコミュニティ」や「パルスシステム埼玉」がPR。生命の大切さを訴えるCOCOレンジャー（犬猫応援隊）や、当会やピンクリボンの会きたもとなどオリジナルグッズ販売で終始賑わいを見せました。



お楽しみ抽選会



AYA(アヤ)とは、Adolescent and young Adult(思春期と若年成人)の略であり、15歳～29歳の世代のがん患者を意味します。

アメリカで自らも小児がんと闘う少女アレックスが、「レモネードを売ったお金で病気の子も達を助けたいの!」と、自宅の庭にレモネード・スタンドを開くというアイデアが全米で広まり日本でも活動が始まりました。

“When life gives you lemons, just make lemonade.” <酸っぱいレモンをもらったら、甘くて美味しいレモネードを作ればいいのよ>という言葉は、「たとえどんな困難に遭っても、それを転換する方法はある」という意味が込められています。妻沼レディース様、アルスコンピュータ専門学校様がブース担当をしてくださり、126杯の手作りレモネードを配布し、20,048円の募金が集まりました。全額、がんネットジャパン内「樋口孝宗がん研究基金」へ寄付致しました。



今年もこんなに多くの企業、お店、そして個人の方たちが「ピンクリボン・デー in くまがや」を応援してくださいました。

●協賛

熊谷市医師会・(一社)熊谷市歯科医師会・(一社)熊谷薬劑師会・クリニカルエステ花蔵・株式会社八木橋・株式会社梅林堂・(公社)熊谷法人会熊谷支部女性部会・埼玉ひまわり法律事務所・野口英明法律事務所・吉見商事(株)・(株)オキナヤ・株式会社木島陸運・ダスキン平戸支店・大石社会保険労務士事務所・医療法人うぶごえ会ティアラ21女性クリニック・特定医療法人同愛会 熊谷外科病院・医療法人藤和会 藤間病院・医療法人いのクリニック・医療法人三療会たけうちクリニック・統合医療ライフクリニック・埼玉医療生活協同組合 羽生総合病院・こくさいじクリニック・亀田総合病院乳腺科医局・重竹歯科医院・小林歯科医院(村岡)・市川歯科診療所・飯島賢二税理士事務所・田代会計事務所・原靖税理士事務所・Design&crafts POTS 丸山滋・埼玉北部ヤクルト販売株式会社・NPO 法人くまがや小麦の会・小さなホテルセラヴィ・深谷電機株式会社・オリエンタル鍼灸院・山光化学株式会社・(株)栄進・(株)アシスト・(株)末広不動産・(株)埼玉住宅情報センター・株式会社近江屋酒店・はっかいグループ・Beauty GARO・(株)山セント商会・株式会社深谷カーボン・林表具店・(株)中島水道・慈げん 宇田川和孝・株式会社 SHAFT・森田住宅設備機器株式会社・(株)カゴハラゴルフクラブ・(株)デイ葬儀社・フラ・キエレ代表草野野子・NTT スポーツコミュニティ(株)・くまがや鳴子会熊舞・明治安田生命保険相互会社・大和屋(株)くまがや館・ミキ薬局埼玉行田店・オレゴントレイル・(株)中島武文商店・(株)協託・メガネのおおの(深谷市)・めめまぐらしの会・株式会社クジライ・エムシール・ショコラティエヌーク・Emiko K.Faford・Atelier Ribbon Ribbon Lei Making Owner & Ribbon Lei Design 井坂裕子・斉藤敦子・第一生命熊谷労働組合・Smile Heart・日本画家 大野百樹・工藤啓・橋場伸男・栗原規夫・栗原俊介・栗原亮太・(社)熊谷青年会議所(株)サンエイ設計企画・(株)ウエハラ・(株)時田工務店・(株)玉井事務所・東洋造機(株)・鷹の羽興業(株)・(株)小林不動産・松坂屋建材(株)・鯨井隆行・(株)奈良不動産・(株)ゆうせいざ・森田俊和・神澤節子・太田久子・株式会社野沢銘木店・フラオハナカブアイビ・劇団ダウト・劇団シナトラ・大橋理容室 大橋正宏・株式会社 ICST・アルファ学院・アルス画房・トヨタカローラ埼玉深谷店・(株)フラワータイムパレット・ホシカワ☆カフェ・indesign (インデザイン) 原澤雅彦・日本生命労働組合熊谷支部

●後援

熊谷市・熊谷市教育委員会・熊谷商工会議所・熊谷市自治会連合会・埼玉弁護士会熊谷支部・社団法人熊谷青年会議所・行田市医師会・鴻巣市医師会・俳人 金子兜太・日本画家 大野百樹・作家 森村誠一・NPO 法人子育てネットくまがや・熊谷市地域子育て支援拠点連絡会・新川菜園村・ピースふあいぶるクラブ・朝日新聞さいたま支局・読売新聞さいたま支局・毎日新聞熊谷支局・東京新聞さいたま支局・埼玉新聞社・立正大学・熊谷高校PTA・熊谷女子高校PTA・(公財)埼玉県健康づくり事業団・大宮アルディージャ・ママさんプラスくまがや隊・ママさんプラス埼玉たまびよ隊・田園カフェ Mery's Place・(公財)日本対がん協会・Over Cancer Together ～がんと共にのりこえよう～・NPO 法人がんネットジャパン・NPO 法人乳がん画像診断ネットワーク・SHARE 日本語プログラム代表プロディー愛子(ニューヨーク在住日本人乳がん・卵巣がん患者支援)・乳がん体験者の会 KSHS (キチンと手術・本音で再建の会)・ピンクリボンの会きたもと・Çava!(サヴァ)～さいたま BEC～・埼玉アイメイトの会

●物品提供

たけうちクリニック・アストラゼネカ株式会社・くまがや地域通商研究会・株式会社あじかん・コカ・コーライーストジャパン(株)・キリンビバレッジ株式会社・生活協同組合パルシステム埼玉・株式会社ジャンパール・第一生命保険株式会社・日本生命労働組合熊谷支部・(株)アシスト・株式会社アデランス

●協力

サンノバ株式会社・成田小学校おやじの会・日本生命労働組合熊谷支部・東京海上日動あんしん生命代理店 (株)アシスト・アルスコンピュータ専門学校・妻沼レディース・(株)はなまる

●乳がん検診検診車

(公財) 埼玉県健康づくり事業団 乳腺外科医 横田昌明先生(日本外科学会専門医、日本医師会認定医、産業医、日本消化器外科、日本乳癌学会認定医)

♥くまがやピンクリボン支援オリジナル商品販売/ホシカワ☆カフェ・ショコラティエ アヌーク・慈げん・Design&crafts POTS・フレンチ薬膳 シェルヴサカイ(麻布十番)

●報道協力 朝日新聞社 読売新聞社 毎日新聞社 埼玉新聞社 ジェイコム熊谷

タイムテーブル

協賛各社体験ブース	11:00～16:30(開場時間:11:00)
ピンクリボン啓発ウォーク	11:50～13:00
オープニングセレモニー	13:30～
Moment of silence	司会: 山本鞠女・根岸智子
ピンクリボンコンサート	13:40～14:00
POISON<ポアゾン>	
早坂華織(ヴォーカル&ミュージックコーディネーター)・岡田清光(シンセサイザー)	
ピンクリボン講演会	14:10～15:30
講師: 赤坂友紀氏 「乳がんになっても赤ちゃんがほしい」	

ピンクリボンデー応援アトラクション 15:30～15:45

- フラダンス「フラ オハナ カブアイビ」
- 創作フラダンス・タヒチアンダンス「OHANAJ」

お楽しみ抽選会 15:45～16:30

協賛各社、団体様による展示、体験コーナー

会場/ホワイエ(エントランスホール)

- 小児がん、AYA 世代のがんプロジェクト「レモネードスタンド」
- 熊谷市歯科医師会 ●熊谷薬劑師会 健康チェック 肌年齢・血流・血圧
- 野菜ソムリエ コミュニティさいたま ●ピンクリボンの会きたもと
- 埼玉アイメイトの会 ●COCO レンジャー犬ねこ応援隊一命を繋ぐー
- リラクゼーションアロマリンパマッサージ ●ポーラ化粧品 ハンドマッサージ
- ピンクリボンオリジナルグッズ販売 ●パルシステム埼玉 ●第一生命 ●日本生命

くまがや Pink Ribbon

くまがや Pink Ribbon

くまがやピンクリボンの会

【代表】 栗原和江

【副代表】 栗原直美 反町奈里

【実行委員】 大崎幸恵 笠原洋子

渡邊明子 森永嘉子 家永宏美

笠松典子 中村信子 高橋美佳

高橋真澄 小林和代 関野高広

内田晴美 柳井悦子 清水陽子

酒井真由美

・オフィス

熊谷市市民活動支援センター内

(埼玉県熊谷市曙町5丁目67番地)

・問合せ 080-8908-2108

くまがやピンクリボンの会 顧問医

・ 亀田メディカルセンター (千葉県鴨川市)
亀田京橋クリニック (東京都中央区京橋)
乳腺科 主任部長 福岡英祐先生

・ 埼玉県立がんセンター (北足立郡伊奈町)
病理診断科長・部長 黒住昌史先生

・ こくさいじクリニック (深谷市)
山下純男院長

・ たけうちクリニック (鴻巣市)
竹内幾也院長

・ 医療法人うぶごえ会ティアラ21女性クリニック (熊谷市)
中山政美院長